

みやき便り

No.16

2018年2月28日発行

2 (Z)月号

日本生協連
組合員活動部

宮城県内各地では、さまざまな復興関連の工事がすすんでいます。かさ上げ工事などによって震災前の様子や、被災当時の状況がわからなくなっている場所もあります。

変化する被災地を見て、震災を忘れず、防災につなげていただくため、宮城へのご来訪をお待ちしています。



長い間のご支援に感謝～京都生協・鳥取県畜産組合のみなさん

震災後毎年、南三陸町の県漁協志津川支所牡蠣作業施設や、登米市の仮設住宅集会所などで開催していた京都生協、鳥取県畜産組合のみなさんによる「餅つきと餅のふるまい」を12月2日(土)に開催。今年度をもって終了となり、感謝のセレモニーが行われました。南三陸町の方々や、これまで関わってきた方々から感謝の品が手渡され、県北ボラセンでもサポーター手作りのキーホルダーをお渡ししました。今までのご支援に感謝！！



共立社新庄生協のみなさんが来訪



12月21日、石巻市の蛇田店オープンカフェに山形の共立社新庄生協のみなさんが参加しました。バザー収益金の一部を石巻VCへの募金として贈呈したほか、新庄のお菓子を提供しました。オープンカフェ参加者は「山形からはるばる来てくれたの？ありがたいです」「まだ支援が続いていて本当にありがたい」と嬉しそうでした。新庄生協のみなさんありがとうございました。



ふれあい喫茶でお礼のメッセージ作り(仙塩VC)

仙塩VCでは、いただいた支援への感謝の思いを込めたメッセージを、みんなで書きました。コープぎふのみなさんからいただいたメッセージに書かれた「私たちは3.11を忘れません」の言葉から、震災当時の話を初めて話される方もいました。(太子堂店ふらっとカフェ・1月16日)

「まもなく震災から7年。遠くからいつも気にしていただき、とてもうれしい」「いつも美味しいお菓子に心がほっこりしています」とメッセージを書きながら話してくださいました。(あすと長町災害公営住宅ふれあい喫茶・1月25日)





名取市の2ヶ所の仮設住宅で支援のお礼色紙を作成しました。

昨年暮れにコープぎふのみなさんから贈られたお菓子やメッセージに対し、ふれあい喫茶の参加者で、お礼の気持ちを込めて色紙作りを



しました。5月14日で閉鎖となる箱塚屋敷団地仮設住宅では、これまで支援いただいた感謝の思いや、2015年にコープぎふのみなさんが来訪された際の思い出などをたくさん書いていました。この色紙は、1月30日にコープぎふの林理事と須田理事に、感謝を込めてお渡ししました。



災害公営住宅の家賃低減

災害公営住宅の家賃は、入居から5年は国による減免措置があります。6年目から徐々に引き上げられ、11年目からは他の公営住宅同等の家賃になるしくみですが、昨年12月、復興庁から「6年目以降、市町村が独自に家賃を減免可能」との通知が出されていました。

山元町では、県内で一番早い2013年4月に災害公営住宅への入居が始まり今年が6年目となるため、入居者からは不安の声が寄せられていました。1月24日、山元町は、町の独自支援を発表。2018年度の1年間、約60世帯の家賃を据え置く予定とのことです。

石巻市でも、家賃の低減期間を5年間独自に延長する方針を固めたとのこと。対象世帯は復興公営住宅4500戸の入居者の8割です。被災者が生活の安定を取り戻すには、しばらく時間を要すると判断されました。

さらに仙台市、気仙沼市、東松島市などでも相次いで家賃低減期間の延長が発表されています。



山元町内の災害公営住宅



石巻市内の災害公営住宅



生まれ変わる風景 気仙沼市片浜・八幡神社から（2018年1月14日撮影）



県道、JR気仙沼線BRT専用道の整備、防潮堤、防波堤、三陸沿岸道路整備など、たくさんの工事が同時に進められています。 ※BRT：線路敷を活用した専用道などを走るバスによる輸送システム。

発行

日本生協連 組織推進本部 組合員活動部
電話 03-5778-8124 Fax 03-5778-8125

担当

小池、住吉